

研究テーマ：地域ライブ映像配信に関する実証実験(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A16021)

研究機関： 宮崎大学、宮崎市、エムネット株式会社、アブック株式会社

研究の概要：

実証実験の回線環境として、平成14年8月に宮崎県が整備・運用を開始した全自治体を接続する「宮崎情報ハイウェイ 21」および JGN2、NTT 西日本の B フレッツサービスを利用。

宮崎市内と東京都内(新宿)の拠点間を接続し、双方向のライブ映像配信を安定的に行うための実証実験を行う。宮崎市が取り組むH15年度総務省事業「みやざき e-City づくり」の一環で、自治体の新たな情報発信チャンネルとしてその有効性を検証することを目的とする。

宮崎市内のライブカメラ設置箇所から光芯線で宮崎情報ハイウェイ 21 の宮崎アクセスポイントに接続。そこから JGN2 宮崎ノードである宮崎大学総合情報処理センター、JGN2 経由で大手町アクセスポイントにパスを通す。JGN2 大手町アクセスポイントと映像配信拠点である新宿宮崎物産館の間は NTT 東日本のダークファイバを利用し、宮崎と東京の間に高速帯域を確保。

6MbpsのMPEG2によるライブ配信、および、蓄積型マルチメディアコンテンツのプレイヤー機器による自治体制作の各種番組放映を行う。新宿KONNEのスクリーンに宮崎県・市のイベントをリアルタイムに放映発信することを実施している。

研究の目的：



- ① 「産・学・公連携」しての、地域貢献ネットワークを実現する。
- ② 離れたエリアをできる限り「安価で広帯域なネットワーク」で実現する。
- ③ 遅延の少ない「リアルタイム」な映像データの送受信を実現する。

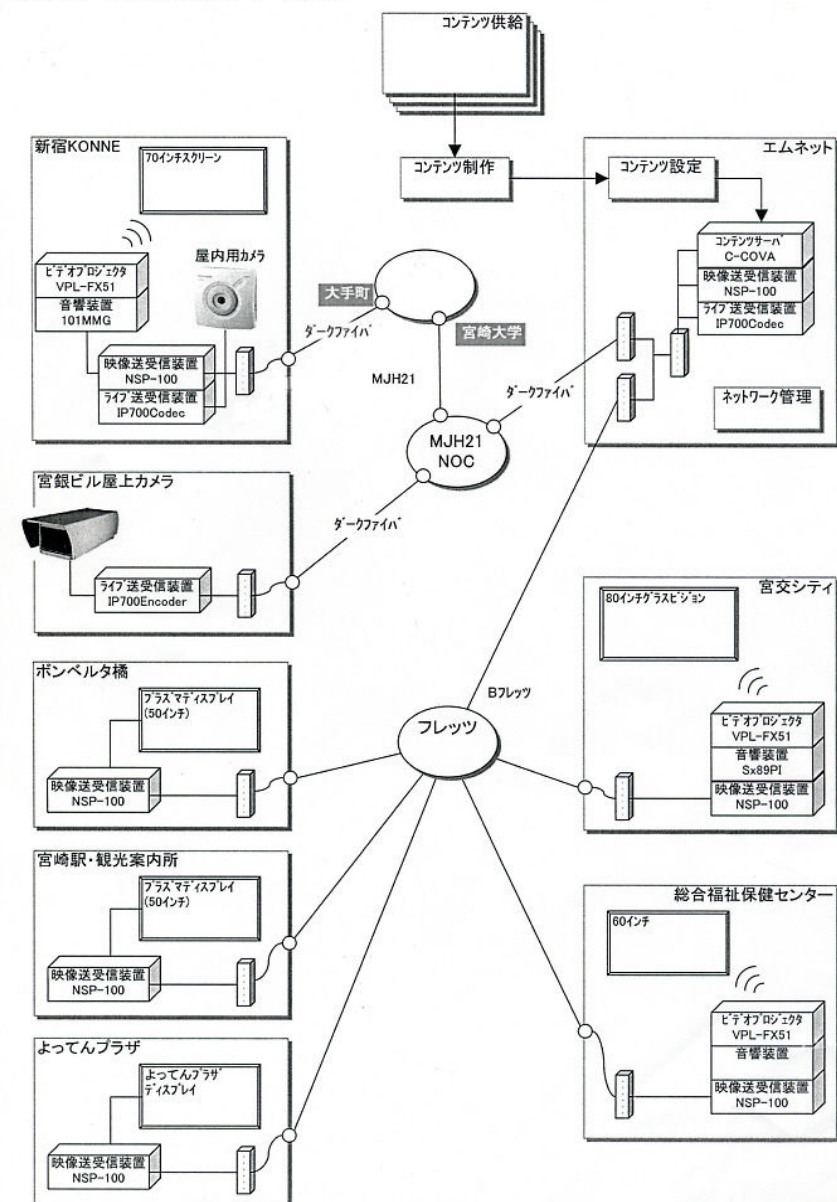
研究テーマ：地域ライブ映像配信に関する実証実験(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A16021)

研究機関： 宮崎大学、宮崎市、エムネット株式会社、アブック株式会社

実験機器構成：

みやざき e-CITY システムネットワーク概念図



研究開発状況：

回線を用意するために、様々な苦労があった。実際の設置場所となる宮崎県の物産館KONNEへの「ダークファイバの開通」がなかなか段取りよく進まず、当初の予定で考えていた下記イベントの際には、その時だけの臨時回線として、ATMメガリンクを用いて期間限定で回線を手配し、JGN（現JGN2）と接続を行った。

平成15年11月に宮崎県で行われた、「全国マルチメディア祭」の時には、新宿KONNEと会場を結び、東京で働く宮崎出身者で組織された「在京経営者会」の方と、宮崎地場企業の方とで、双方向のライブ中継（約30分）を行った。

実際の実験環境の完成予定とは回線接続スケジュールに大幅に遅れが出たが、平成17年7月より、JGN2との接続幹線となっていたダークファイバ（新宿KONNE館～JGN2大手町AP間）がようやく開通した。（遅れた要因：24時間稼働する駅構内あるテナントビルに回線を敷設するという作業だった点）

それ以後、宮崎県内のイベントをリアルタイムにKONNE館のスクリーンへ流すことができるようになった。同年7月末に行われた「まつり えれこっちゃんみやざき」を試験的に配信、さらには、10月末に「宮崎神宮大祭」の様も2時間ほど再生プログラムに組み込み流した。

そして今年7月末に行われた祭り「神武様」の様も、18時から21時までの3時間のライブ放送を行った。

今後の予定：

今後も、宮崎市の情報発信基地として、様々な催し、イベント等の発信を行い、データ収集（東京側での映像品質確認、周囲観客状況）を採取したいと考えております。

将来の展望：

JGN2福岡APにも中継パスを張っていただいているため、福岡でも同様の形の展開を行いたい。